

盛り上がるマジック

中畑 話の苦手な手品師。

福井 大学生。

太田 大学生。

村瀬 手品バーのオーナー。

手品バー。

手品中の中畑。客の太田と福井。

中畑 そのカードを覚えたら、トランプの好きな所に戻してください。

太田が福井とカードを確認しトランプに戻す。

中畑 はい。それではシャッフルします。実はあなたが選んだカードは運命によってすでに決められていました。

福井 運命？

中畑 はい。運命によってそのカードは決まっていました。そして、

福井 え？それはいつから決まっていたの？

太田 は？

福井 いや、いつ決まったのかわかって。太田が手品でトランプ引く事とか、そのカードが何なのかとか決まった瞬間？いつなのかわかって。いやそこ気にする？

太田 気になるでしょ。運命決まったタイミング。いつなんですか？

中畑 ビック、バン！

太田 は？

中畑 ビックバンで決まりました。

太田 トランプを引くことが？

中畑 はい！「バーン！トランプ引くよー」って感じで。はい。

福井 マジですか！？その時からずでに？

中畑 そうですね。その時から「バーン！手品バーでトランプ引くよー。当たるよー。」って決まっていました。

福井 マジすか！ビックバン凄いですね！

中畑 そうです。凄いですビックバンは。

福井 いや本当凄いですねビックバン！

太田 あ、うん、福井、そこはもういいから。・・・じゃあカード当ててもらっていいですか？

中畑 そうですね。（カードをシャッフルしながら）はい。じゃあ運命によって、あなたが先ほど選んだカードが今、トランプの一番上に来ています。あなたが選んだカードは・・・（カードをめくる）これですね？

太田 !はい。

福井 すげー！ビックバンすげー！

太田 そうなっちゃやうよな。途中でビックバンで盛り上がっちゃってたら、
そうなっちゃやうよな。手品が凄いだよ？コレ。
中畑 いえいえ、ビックバンに比べたら私なんて全然すごくないです。
太田 それは絶対そうだけど。
中畑 すみません。手品バーに来たのに、結果ビックバンの方が凄って結
論ですみません。
太田 いやいやそれはわかってた事だし。俺たちも看板見て面白そうだっ
て入っただけだから。
村瀬 どうしました？

村瀬が入って来る。

中畑 あ、オーナー。すみません、ちょっと手品バーなのにビックバンの方
がまさって……。
村瀬 またですか……。
太田 またって何ですか？そうそうビックバンがまさる事あります？
村瀬 いえ……。この中畑くんは技術は一流なんですけど、喋りが苦手です
ね。手品とは関係ない部分で盛り上げてしまっんです。
太田 関係ない部分で盛り上げる？
村瀬 はい。先日も手品をしていたはずが、気付けば何故か、落語を一席話
していました。
太田 それ喋りが苦手って言いますか？
中畑 すみません。お客様が「火焰太鼓」を知らないとおっしゃったの
で……。
福井 火焰太鼓？
中畑 ええ。落語の。ご存知ない？では。ええー古道具屋の甚兵衛、
太田 いいですいいです落語は。
村瀬 中畑くん！
中畑 あ！すみません。
村瀬 そういった訳で、中畑くんには手品以外で盛り上がらないように、
「つまらない話をしなさい」と常々言っているんですが・
太田 いや、つまらない話をされても困りますけど……。それに今回はこ
いつが悪いと思えますんで。
福井 なんで？
太田 お前が運命っていつ決まったんですか？とか言うから。
中畑 いえいえ、私がそれにビックバンとか言ったから悪いので。

村瀬 中畑くん、そんな事言ったの？
中畑 はい。
村瀬 ダメじゃないか宇宙の話なんかしたら。それは盛り上がるよ！
中畑 すみません。
太田 いや、そんなに言うほど盛り上がりませんよ。
村瀬 でも宇宙の起源の話ですよ・・・盛り上がるよ！
太田 そうですか？
村瀬 宇宙の始まりってどうなってたんだろう。気になるう。
福井 ビックバンじゃないですか？
村瀬 ビックバンね！ロマン！ちよっと酒持って来ていいですか？
太田 盛り上がりすぎでしょ！ちよっと落ち着いてください。
村瀬 ああすみません・・・。とにかく中畑くん。お客様が盛り上がるような話題は禁止。いいね？
中畑 はい。
太田 それ接客業としてどうなんですか？
中畑 いえ、いいんです。私は手品師ですから手品で盛り上げれば。信長も言ってる話なんですけど、
太田 え？
福井 信長？織田信長？
村瀬 ちよっと中畑くん！何の話してんの！？
中畑 え？織田信長と松永久秀のエピソードを。
村瀬 それ盛り上がるよ！そんな戦国の裏切りに裏切るエピソード、絶対盛り上がるよ！
中畑 そうですか？
村瀬 みんな好きでしょ！ね！
福井 正直・・・嫌いじゃ無いっすね！
中畑 やめます？
村・福 聞くよ！
中畑 えー、時は戦国、
太田 え？え？え？
中畑 なんですか？
太田 結局聞くんですか？盛り上がる話。
村瀬 ああ！申し訳ありません！つい！盛り上がってしまっ！

崩れ落ちる村瀬。

太田 いや、そこまでのことじゃ無いですけど。

中畑 すみません。私が盛り上がる話をしてしまうばかりにこんな事にいつもそうなんです。私のトークは魔性のトーク。人々をつい、盛り上げてしまう……。

太田 そんな言うほどですか？

中畑 ええ。こんなんじや手品師失格ですよ。もう手品師はやめようかな……。

村瀬 中畑くん。

福井 ……いいんじゃないですか。盛り上がる話しても。

中畑 え？

福井 確かに手品バーですから手品で盛り上げるべきでしょう、しかしながら、結果お客さんを楽しませられるなら、それは中畑さんは素晴らしいエンターティナーって事なんじゃあないですか？どうですか？

太田 まあ、それはそう。

福井 ね？中畑さん。自信をもっていいんですよ。

中畑 お客さん……。

福井 それにオーナーさんは中畑さんの手品の腕は一流だって言ってたし、オーナーさんだって中畑さんに、手品師辞めて欲しく無いですよ。……もちろんだよ。中畑くん、無理強いる気は無いけど、私は君に手品を続けてもらいたいな。君は本当は、どうしたい？

中畑 オーナー……お客さん……あの……これは高杉晋作の話なんですけど、

福井 幕末の話！？

村瀬 いいね！好きだよ！幕末の話！

太田 そこで盛り上がっちゃうの！？いや、ちゃんと聞きましょうよ！

わちゃわちゃしながら暗転。